

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：都市地理学 ILAS Seminar: Urban Geography			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 久木元 美琴		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	12(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	人間・環境学研究科棟437			使用言語	日本語
キーワード	都市 / 地理学						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
【授業の概要・目的】							
<p>テーマ：都市地理学を学ぶ</p> <p>この授業では、都市地理学の基本的な視点や課題を理解し、都市を観察する方法を習得します。都市に暮らす人口が増加している傾向は、日本を含む世界の共通傾向となっています。この授業では、そもそも都市とはどのようなものか、どのような特徴を持つのか、近年の新たな動きや課題にはどのようなものがあるのか、といった問いを出発点として、都市地理学を中心に理論や事例を学んでいきます。都市空間や都市構造のモデルを学習したうえで、具体的な都市や地域を見る視点と方法を習得するために、実際の都市を歩いて観察するフィールドワークを取り入れます。これらを通じて、現代都市をめぐる可能性や課題について考察できるようになることを目的とします。</p>							
【到達目標】							
都市地理学の基本的な視点、都市空間や都市構造、都市の新たな動きや課題について理解し、文献や統計、現地の観察結果等について発表したりそれをもとに議論したりできるようになる。							
【授業計画と内容】							
<p>授業はゼミナール形式で進められます。都市地理学に関する文献資料の読み方、地図や統計、各種資料の判読・利用方法について学びます。そのうえで、各受講生がテーマを選び、文献資料のまとめ、地図、各種資料の判読と発表、討論を行います。また、以上の学習を踏まえながら、実際の大都市（大阪市内）を歩き、都市内部の景観や土地利用、各種都市機能の集積を観察するフィールドワークを実施します。フィールドワークは、土日・祝日などにオプションで実施する可能性もあります。</p> <p>第1回 概要説明  第2～4回 文献・資料の探索と統計利用に関するレクチャー、テーマ設定  第5～13回 発表・討論（フィールドワーク）  第14回 総括  第15回 フィードバック（フィードバック期間中に行う）</p>							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点】							
平常点（発表、レジュメの作成、コメントペーパー）70%、期末レポート30%。							
ILASセミナー：都市地理学(2)へ続く							

ILASセミナー：都市地理学(2)

**[教科書]**

授業中に指示する

**[参考書等]**

(参考書)

授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

予習：授業中に提示された資料や都市に関する新聞記事や文献等をみておく。課題への応答や発表準備、フィールドワークの準備をする。

復習：学習した現象や理論、討論内容を自分なりに整理しておく。課題への応答やレポートの作成をする。

**[その他(オフィスアワー等)]**

ゼミナール形式で行うことから、毎回出席できることを前提とします。自身の発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり発表を聞いて討論することがゼミナールの重要な過程となるからです。フィールドワークに係る交通費や関連施設入館料等は受講生の負担となります。フィールドワーク中の事故や怪我に備えて、学生教育研究災害傷害保険に各自で加入しておくこと。